



## グリーンアジア国際リーダー教育センターの紹介

### 原田 明

プログラムコーディネーター  
 GAECセンター長

「グリーンアジア国際リーダー教育センター」(GAEC, Green Asia Education Center)は、「グリーンアジア国際戦略プログラム」を実施する責任組織として、平成24年12月1日に設置された九州大学の学内共同教育研究施設である。複数の学府・専攻にまたがる共通の学位プログラムである「グリーンアジア国際戦略プログラム」の推進に際しては、十全の責任体制と全学一体的な展開を担保する体制が要請され、本プログラム担当者等からなる強力な運営組織が必要であった。そこで、特に、(1) 本プログラムの運営組織を本学の学則に規定されたVisibleな「目に見える」組織として整備することにより、学内諸制度の適用や学内諸機関との連携協力を円滑に行う、(2) 本プログラムにおける成果と活動を広く一般に説明・報告する上で、特定の部局から組織上の構成を画することにより、公平性やアカウンタビリティを担保する、(3) 本プログラムの連携先である様々な企業・自治体・大学と協力を図る上で、既存の学内組織ではない本プログラムに特化した学内組織を活動母体とすることは、柔軟な機動性を担保する、ことを期して設置されている。

本センターは、“教育連携協力部門(特定教育研究部門)”と“プロジェクト部門”からなる。前者は、センター長と特定プロジェクト教員で構成され、本プログラム推進の実質的の遂行の中核を担い、教育業務、コース生の研究指導、付帯業務全般に拘わる。後者は、複担・協力教員(分担者)、と客員教員で構成され、講義、演習等のコースワーク等や、コース生の研究指導を担当し、管理運営を含む本プログラムに関連する業務の全般に拘わる。

本センターの内部機構(計画)および既存の学内組織(学府、研究所、他センター等)との協力連携の関連を以下に図示する。

将来的には、「炭素資源国際教育研究センター」、「エネルギー基盤技術国際教育研究センター」(現在、総合理工学研究院と先導物質化学研究所により新設を予定)とも密接に連携しつつ、国際連携、産学連携、地域連携のもと、世界的なエネルギー基盤技術の教育研究の新拠点形成の一翼を担うことを期している。

### 管理運営体制

